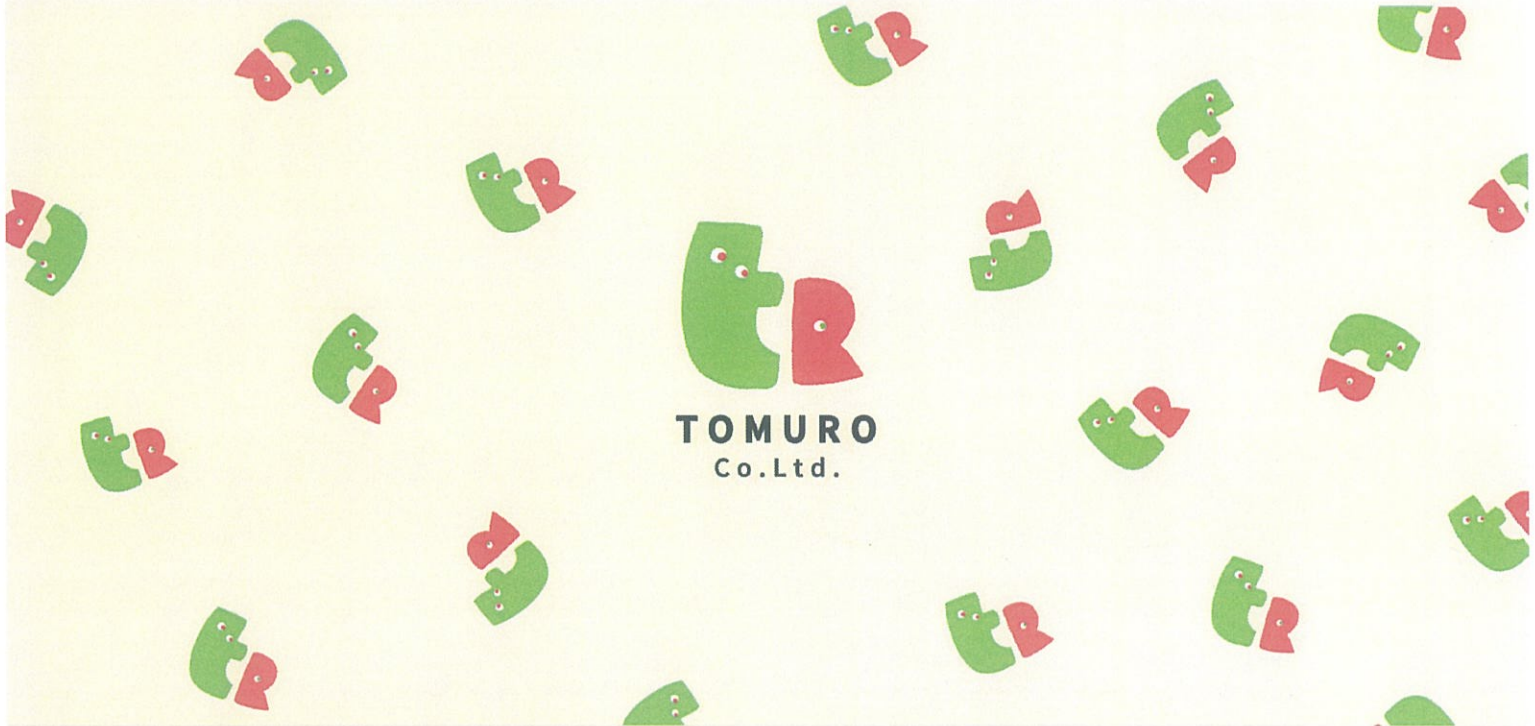


木くずのリサイクル



についての研究



金沢市立夕日寺小学校

6年1組 中谷大和

🌸 研究の動機 🌸

父の仕事がどんな事をしているのか、
知りたくなり、研究しました。

🌸 研究の計画 🌸

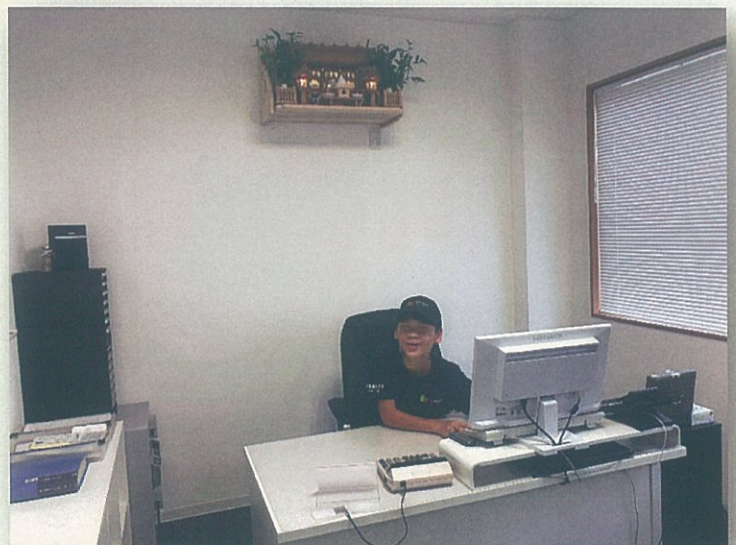
お父さんに相談する。
父の仕事場に行き、会社を見学
する。



会社に到着しま
した。父の会社は、
株式会社とむろ
です。

株式会社とむろは、
木くずのリサイ
クルをしている
会社です。

父のデスクに座って
みました。

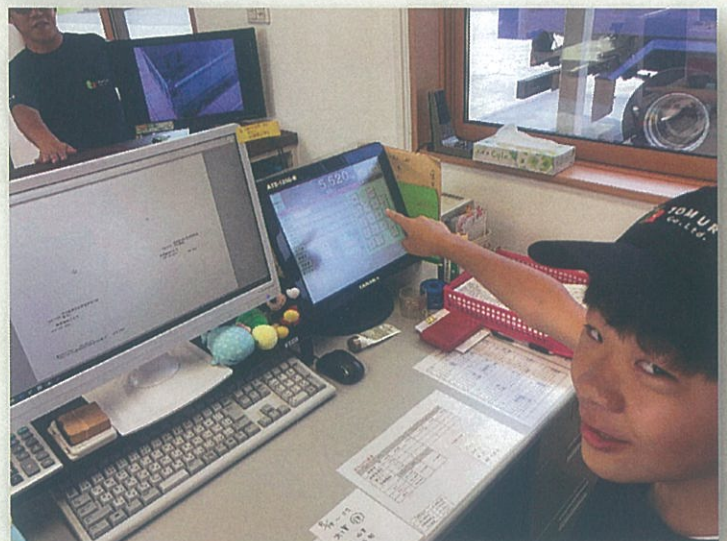


① 木くず到着



木くずは工事現場や、解体現場などからダンプに積み、運ばれてきます。

上の写真は、ダンプの下の鉄板が計量器になっていて、ダンプごと重さを計ります。



こんな重いのに計れるなんてすごいと思いました。

② 木くずをおろす



木くずをおろした後、もう一度ダンプだけの重さを計って、実際の木くずの重さがわかります。

③ マニフェストの交付



不法投きを防止するため、
お客様に、マニフェストを
おわたしする。

④ 木くずを糸田かく石砕く



到着した木くずを、
破砕する機械で
糸田かくくたく様子
です。

この木くずの中には、
解体された家の木や、
くぎなどがふくま
れています。



⑤ 破砕機で木くずを破砕する



木くずをリサイクルするには、

50mm以下にする

必要があるので、

この大きな破砕機で
木くずをリサイクルできるように
作ります。

破砕機に木くずを入れます。

木が砕かれる音が、

すごく大きくておどろき

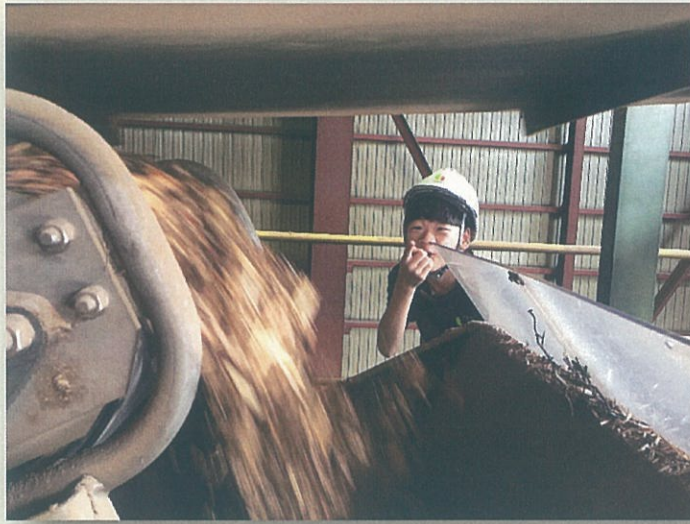
ました。



木くずがどんどん

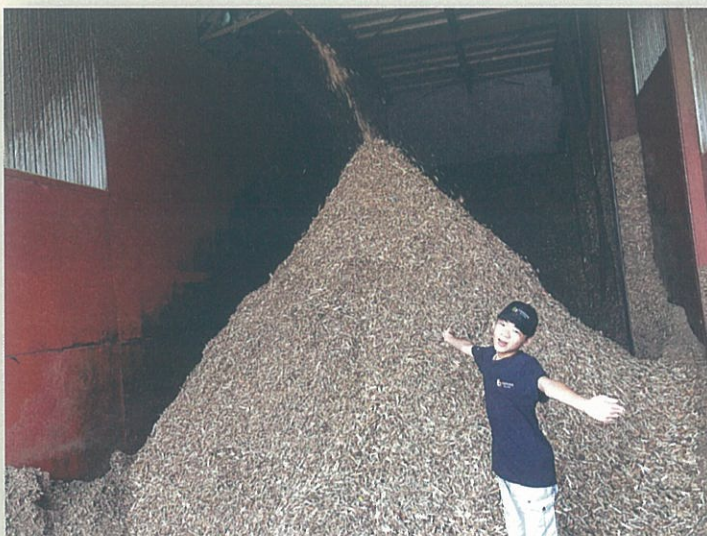
ベルトコンベアで

上がってきます。



木くずにはくぎなどの、
金ぞくがまじっているので
この石磁選機で
くぎなどをとりのぞいています。

木くずを50mm以下にする。
機材で、このふるいに
かけてリサイクルできる。
大きさに選別しています。



出来あがり!!

⑥ 製品の積み込み



ホイールローダーでつみこんで
出荷します。
視界がせまくて見にくいのに
うまくつみこむのがすごいと思いました。



てか!!

父の仕事は、木くずをリサイクルしていることがわかりました。
この木くずは、製紙会社のバイオマスボイラー燃料として
商品として出荷され、地球にやさしい原料として
社会に貢献できていることを知りました。

この研究が、安全にできたのは、従業員のみならず、
+協力で、できました。暑い中ぼくのために
ありがとうございました。

